



企業名：株式会社ベース
所在地：長崎県諫早市栄町
事業者：陣野 真理
設立：2023年

商店街活性化の秘訣は、
お店同士がおいしくなること。



アイデンティティ/事業を突き動かす内発的動機

諫早で1981年に創業以来、現在も地域住民に愛されるハンバーガーショップ「トミーズ」を運営。そして2019年にいさはやアエル中央商店街栄町通りに新たな飲食店「BASE Cafe」を立ち上げ、商店街のみならず地域全体を盛り上げています。「ISAHAYAグルメフェスティバル」「ISAHAYA“頂”プロジェクト」など、さまざまな地域活性化プロジェクトも実施してきました。2023年に株式会社ベースを設立し、BASE cafeの隣でもともと商店街組織が運営していた産直市場を「いさはや市場 TETOTE」としてリニューアルオープンさせました。「誰かがやらないとなくなる。だけど、みんなに『絶対やめた方がいい』って言われましたね。」と語る陣野氏。陣野氏が手を挙げなければ担い手が現れなかったかもしれない「いさはや市場 TETOTE」は、地域に欠かせない施設として、お店・産直市場・イベントなどに活用されています。



ISAHAYAグルメフェスティバルの様子

ビジョン

商店街に関わる人を増やし、巻き込んでいく取組を末永く継続することが陣野氏のビジョンです。決して商店街が主役という訳ではなく、理想的なかたちとして、お客様をプレイヤーに変え、地元の高校生などの若者から高齢者の方まで幅広い世代の地域住民が「自分自身がまちを盛り上げていること」を実感してもらえるよう意識して活動しています。

強みや特徴

商店街のお店や、飲食店同士の独自のネットワークを活用し、さまざまなプロジェクトを仕掛けています。最大約3万人が来場するイベントに成した「ISAHAYAグルメフェスティバル」やコロナ禍に宿泊客が減少してしまったホテルと連携しての「いさぱく」、1次産業と3次産業をつなげる取り組み「頂プロジェクト」など、地元の飲食店や企業と協力し、地元地域にしっかりお金が落とされる仕組を構築できることが強みです。



拠点となっているBASE Cafe

経営課題

ある時、陣野氏はコンビニの駐車場でおにぎりを食べている親子を見て、「諫早の食の良さのPRが足りていないのでは？」と感じ、店舗同士が敵ではなく、仲間として立ち向かう必要があると感じたそうです。1店舗だけが儲かっても意味がなく、一緒にまちを盛り上げるプレイヤーとして飲食店同士が繋がるべきと考え、2012年のISAHAYAグルメフェスティバルから始まる商店街の盛り上がりにつながっていきます。しかし、イベントの規模が大きくなるにつれ、その集客に対応するための食事の提供に重きを置くようになり、地元食材を使ったこだわりのフードが出せなくなってきたという課題を感じ始めた頃、新型コロナが到来します。「イベント本来の趣旨と現実のズレに悩んでいた時期に、改めて大切なことと向き合うことができ、事業を見直す良い機会となった」と語る陣野氏。しかし、コロナ禍によって商店街は集客面で大きなダメージを負ってしまいました。

デザイン経営での解決策

コロナ禍によって飲食店や宿泊施設が受けた被害は計り知れません。陣野氏はすぐにホテルと協力し、密にならないマイクロツーリズムの企画として「いさぱく」を実施。宿泊客に地元の飲食店で使用できる食事券を渡して来店を促す仕組みを作りました。また、ポスティング会社と協力して飲食店のデリバリーも行いました。その他、イベントで知り合った作家の方にマスク製作を依頼することで、作家がイベント出店できない間の収入源にでき、同時にお店への集客につなげることができたそうです。「自分のお店だけ守ろうとしていたら前に進めなかった。色々な方と手を組んで新しいサービスを作る必要があった」と語る陣野氏は、コロナが落ち着き始めてからその想いをより意識して活動していきます。「ISAHAYAグルメフェスティバル」の経験を活かし、「ISAHAYA“頂”プロジェクト」や「GOO GOO MARCHE」を立ち上げ、お店やまちのプレイヤーたちを盛り上げています。

アウトプット



地域住民がまちのプレイヤーとして活躍



イベントでの商店街の賑わい

これから

商店街は、ものを売るだけの場所ではなく、生活を過ごす場所として。今、生活を過ごす上で商店街にお客様が何を求めているのか。そのことに向き合った時、まちの中に自己実現できる場所がある、それが商店街であることという考え方に行き着きました。それは、お客様ではなく生活者が町のプレイヤーになってもらい、自分自身が商店街を活用すること。まちのプレイヤーたちがイベントができるように、場所の提供や行政への手続きなど、経験やノウハウを循環させてアエル商店街が盛り上がる種を育てています。